連合「なんでも労働相談ダイヤル」（ ０１２０－１５４－０５２）
2014年7月　相談集計報告

○全体の特徴

■正社員からの相談が6割弱を占め、前年同月と比べ170件、8.1ポイント増加している。年代別では、前年と比べ60代からの相談がほぼ倍増した。
■相談内容では、「解雇・退職強要・契約打切」14.5%が最も多く、次いで「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」13.0%、「就業規則・雇用契約」6.5%となっている。業種別では、「製造業」17.9%と最も多く、前年同月と比べ1.5ポイント増加した。
■具体的な相談では「業務内容は変わらないが、基本給が引き下げられ手当を含め10万円の減給になった。賃金引き下げは納得いかず、元の給料に戻して欲しい」「契約時間より早く来て仕事をするように言われた。しかし、契約時間外は賃金がでない」など、60代、70代からの相談が目立った。

	2014年	2013年
集計対象期間	7月1日～7月31日	7月1日～7月31日
受付件数（受付件数のみ報告分含）	1,174	1,127
報告(本部・地方)数	48	48

項目		内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別（未報告除く）		男性	686	57.0%	男性	604	55.7%
		女性	517	43.0%	女性	480	44.3%
年代（不明除く）		10代	9	0.9%	10代	4	0.5%
		20代	140	14.6%	20代	108	13.4%
		30代	217	22.7%	30代	200	24.8%
		40代	308	32.2%	40代	273	33.9%
		50代	182	19.0%	50代	166	20.6%
		60代	88	9.2%	60代	46	5.7%
		70代	12	1.3%	70代	9	1.1%
雇用形態（不明除く）		正社員	654	56.3%	正社員	484	48.2%
		パート	167	14.4%	パート	167	16.6%
		アルバイト	62	5.3%	アルバイト	72	7.2%
		派遣社員	70	6.0%	派遣社員	43	4.3%
		契約社員	108	9.3%	契約社員	105	10.5%
		嘱託社員	11	0.9%	嘱託社員	11	1.1%
		臨時・非常勤職員※	7	0.6%			
		その他	83	7.1%	その他	122	12.2%
業種(上位)（不明除く）	1位	製造業	159	17.9%	製造業	133	16.4%
	2位	サービス業（他に分類されないもの）	136	15.3%	サービス業	131	16.2%
	3位	医療、福祉	135	15.2%	医療、福祉	121	14.9%
	4位	卸売・小売業	94	10.6%	卸売・小売業	102	12.6%
	5位	運輸業	88	9.9%	運輸業	85	10.5%
相談内容(上位)（未報告除く）	1位	解雇・退職強要・契約打切	162	14.5%	解雇・退職強要・契約打切	147	13.1%
	2位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	145	13.0%	セクハラ・嫌がらせ	135	12.0%
	3位	雇用契約・就業規則	92	8.2%	就業規則・雇用契約	88	7.8%
	4位	退職金・退職手続	72	6.4%	賃金未払い	81	7.2%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	64	5.7%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	73	6.5%

※の部分は、6月から表記を変更しました。